



もがみ 仕事の魅力通信



「もがみ仕事の魅力通信」とは、最上総合支庁と企業等が連携して行う最上地域の人材育成・地元定着に向けた取組みをお知らせする通信です。



@新庄北高等学校



★企業ゲストの皆さん★～ご協力ありがとうございました～

参加者の感想

- 様々な企業・業種があり、「やりたいことは知っていることからしか選べない」とあった通り、**自分で調べて知ることが大事だ**と思った。
- 優良な企業が山形にあり、人材を求めている**ことがわかった。
- 子どもに対しての声かけをぜひ試したい。
- 地元にも**素晴らしい企業がある**ことを知れた。卒業後戻ってきて就職してほしいと思った。
- この地域の企業について調べてみようと思った。
- 想像していたより**面白かった**。
- 子どもの話は傾聴**していきたい。
- 世界で通用するB to Bの企業**が新庄にあることを知れた。
- 奨学金支援事業**について聞くことができ、セミナーを受けて良かった。
- 新庄に住んでいても市内の会社を知る機会がなかったの**で、良い機会だった**。

<情報提供>

「やまがた就職促進奨学金返還支援事業について」

山形県産業労働部産業創造振興課 山口 瑛司 主査

山形県の将来の担い手となる若者の県内回帰・定着を促進するために、奨学金の貸与を受ける大学生等やUターンを希望する社会人の方が、県内に定住・就業した場合に奨学金の返還を支援します。

※詳しくは、県ホームページまたは、下記サイトをご覧ください。



QRコード



サイトにアクセスすると最上地域の企業やイベント情報等が確認できます。
是非、確認してみてください！

高校生の進路選択 親が子どもにできること



山形大学 学士課程基盤教育院 松坂暢浩 教授

8月29日、新庄北高等学校の生徒及び保護者を対象に、進路セミナーを開催しました。

保護者向けセミナーでは、山形大学学士課程基盤教育院の松坂暢浩教授から、「高校卒業後の進路選択～親が子どもにできること～」と題し、将来を考えるうえで必要な視点や子どもとの関わり方、企業が求める人材、県内企業の探し方などについてお話いただきました。

(株)エッサム様、山形航空電子(株)様をゲストに迎えてのトークセッションでは、「入社してから資格取得する方が多い。本人の意欲や自主的なスキルアップを重んじている。何事も自らの限界を決めつけず、粘り強くチャレンジしている方を求めている。」「傾聴して喋ってる間に自分で考え始めて、自分で物事を作り上げていく、そういった実行力のある人が非常に重要。笑顔で人に接して前向きな方が欲しい。若い方と一緒に成長していく企業である。」といった企業の生の声が聞かれました。

山形県産業労働部からは、「やまがた就職促進奨学金返還支援事業」について情報提供がありました。

★進路選択のポイント★

- ✓働くこと・生きることに関する価値観である『**内的キャリア**』が重要。
- ✓親ができることは、**子どもの話の『傾聴』**。すぐに親の考え・答えを言わず、良し悪しを判断しないまま受け止め、本人がその先の**考えを言い出すまで待つ**こと。
- ✓最上地域で就職、というと『**公務員**』というイメージが強いが、公務員試験も倍率的には狭き門。**企業選択の幅を広げるには、『B to B』(企業間取引)企業に目を向ける**こと。
- ✓学生と企業で『採用するときの重視項目』にズレがあることを認識すること

生徒のための進路講演会



- ★キャリアを考える上で「どのように【生きていくのか】、【働いていくのか】、【学んでいくのか】」を問いかけ、自分が『できること』、『やりたいこと』を知ろう。
- ★やりたいことは「**知っていること**」の中からしか**選べない**。
- ★視野を広げ、まずは『**知っていること**』を増やすよう情報収集しよう。
- ★山形県には魅力的な企業が多く、その多くが『**B to B (企業間取引)**』の企業。そういう視点で企業情報を収集したらよい。
- ★大学の研究課程で『**答えのない問題を考える**』こと、『**考える力**』が役に立つ。



O Bゲスト 山形航空電子(株) 羽賀 和輝 氏

地元働く **もがみ** 仕事の**魅力**通信



学校では学べない、卒業前に学んでおきたい
は、モノ、コトを地域の大人と学ぶ講座

ふるさとをまもり未来をつくる
土木技術者のはなし

9月2日、新庄神室産業高等学校を会場に、新庄・最上ジモト大学「ふるさとをまもり未来をつくる土木技術者のはなし」を開催し、高校生38名（新庄北高校1年生1名、神室産業高校2年生12名、新庄東高校1年生24名、2年生1名）が参加しました。第1部のパネルディスカッションでは、最上地域で意欲的に建設業に携わる若者4名から、写真とリアルな会話で仕事の充実感・やりがい・夢などを紹介していただきました。第2部の意見交換会では、進路選択を控えた高校生と、地元で働く先輩の山形県建設業協会最支部青年部員の方々と職場環境などについて話し合いました。

高校生から寄せられた意見



- 資格や仕事に就いたあとの話を聞いてよかった。
- 仕事を選ぶ時に何を重視したらいいかを知れた。
- 会社の選び方、やりがい、仕事内容を学び、進路選択しようと思う。
- 仕事では人間関係が一番大事だと思った。
- 仕事の充実感とやりがいを学ぶことができた。
- 昔と今では、建設という職業が変わってきていることを知ることができた。
- コミュニケーション力が大切なことが分かった。
- 土木の仕事内容について知ることができた。
- 進路についてとても参考になった。人と人の繋がりについても学んだ。



意見交換会の様子



意見交換会の様子

■ご協力いただいたパネリストの皆さん■ ~ありがとうございました！~

梁瀬 優理香氏
(株)柿崎工務所 工事部工事課

真室川町 出身
平成19年度入社
主な仕事：土木工事施工管理
趣味：サッカー観戦、アウトドア



鈴木 慎一郎氏
(沼田建設(株) 建築部 設計住宅課)

最上町 出身
令和2年度入社
主な仕事：建築工事施工管理
趣味：音楽を聴くこと、カラオケ



小島 匠人氏
(永井建設(株) 工務部)

新庄市 出身
令和2年度入社
主な仕事：土木工事施工管理
趣味：ツーリング



小野 斐人氏
(株)新庄・鈴木・柴田組)

真室川町 出身
令和3年度入社
主な仕事：重機オペレーター
趣味：ドライブ、釣り



先輩からメッセージ>>>

- キツイ、汚い、危険と思われがちですが、今はそんなことはありません。技術の進化、業界全体での意識改革が進み、安全に誰でもこなせる仕事に変わってきました。今しかない高校生活を十分に楽しみながら、将来の職業の中に「土木」も視野に入れていただければと思います。
- この仕事の魅力は、道路や橋、建物などのインフラを自分たちが造り、守っていると言えるところだと思います。地域に貢献しているというやりがいを感じながら仕事をしてみませんか。
- 建設業でも週休二日制が推奨され、休みやすくなっています。仕事をする上では健康が第一。社会人になってもよく食べて、よく寝ることが大切です。
- 普段利用している橋や道路などの仕事に携わることで、どれだけ大切な仕事なのか、地元で働くからこそ実感できることがあります。土日休みが多くなってきているので、趣味などに使う時間もはっきりあると思います。

山形県建設業協会最上支部より **お知らせ**

令和6年度社会貢献活動推進月間
広報功労者表彰 (一社 全国建設業協会)
されました！



MCGATAとBANKINGとのコラボ
山形県建設業協会最上支部『DOBOKUのススメ』
をぜひご覧ください！



サイトにアクセスすると最上地域の企業やイベント情報等が確認できます。このパンフレットもダウンロードできます。是非、確認してみてください！



【問い合わせ先】 発行日：令和6年10月

山形県最上総合支庁 建設総務課 ☎ 0233-29-1391

✉ ymogamikensetsu@pref.yamagata.jp